

研究課題名	当院で開発した日本の病院の性質に合わせた rapid response system に関する研究 ～同名研究課題（承認番号 2020-254）の追加研究～
研究の意義・目的	当院では、入院中の患者さんの予期せぬ急変や重症化を防ぐため、2015年より大阪公立大学医学部附属病院で開発、導入した医療安全プロトコルと教育システム（通称：EARRTH；Early Awareness Rapid Response Training in Hospitals）を導入しております。この研究では、その導入が、入院患者さんの急変や重症化を減らす効果があったかどうかを検証するとともに、今後の課題を明らかにすることを目的としております。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2028年3月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2013年4月～2015年3月及び2016年4月～2020年3月の期間に、大阪公立大学医学部附属病院に入院されていた患者さんの中で、「コード・ブルー」が要請された入院患者さん及びICUへ予期されずして入室した患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者基本情報：年齢、性別、入院日時、担当科、主病名、急変時の治療方針 ② コード・ブルー関連：要請部署、要請場所、要請理由、要請日時、24時間以前のEARRTH基準該当の有無と該当時間及びその内容、該当後の医師の処置内容 ③ 心停止事例関連：心停止目撃の有無、心電図の初期波形、第一発見者の胸骨圧迫有無、胸骨圧迫開始時刻、心肺蘇生術の内容、心停止直接要因、自己心拍再開の有無とその時刻 ④ 生存または死亡：蘇生努力の終了時刻、死亡日時、急変時の治療方針の変更の有無、病棟移動の有無
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 （担当者氏名）羽川 直宏 電話番号：（06）6645-3987 メールアドレス：d15mb033@st.osaka-cu.ac.jp